

2013年3月期 第2四半期 決算説明会

2012年10月31日
株式会社デンソー

1. 日本での震災後の大幅減産からの回復や、北米・豪亜地域の好調な車両生産により、増収増益

2. 日本・欧州・中国での車両生産の減少を見込み、通期予想を下方修正

2013年3月期 第2四半期 連結決算

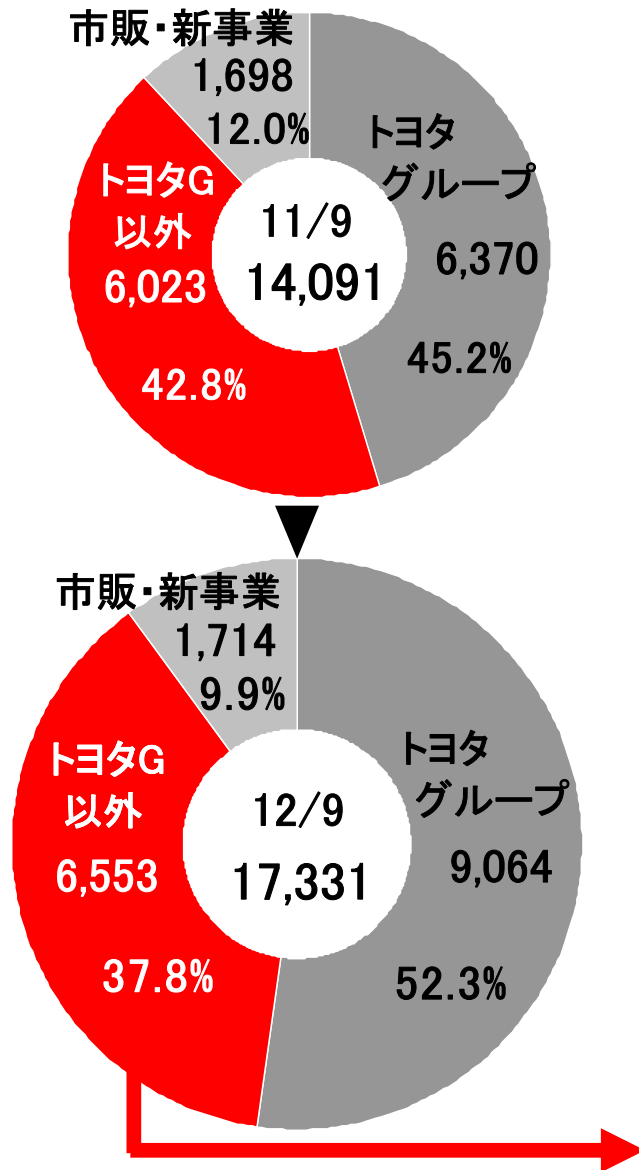
02 / 25

()内は売上高比

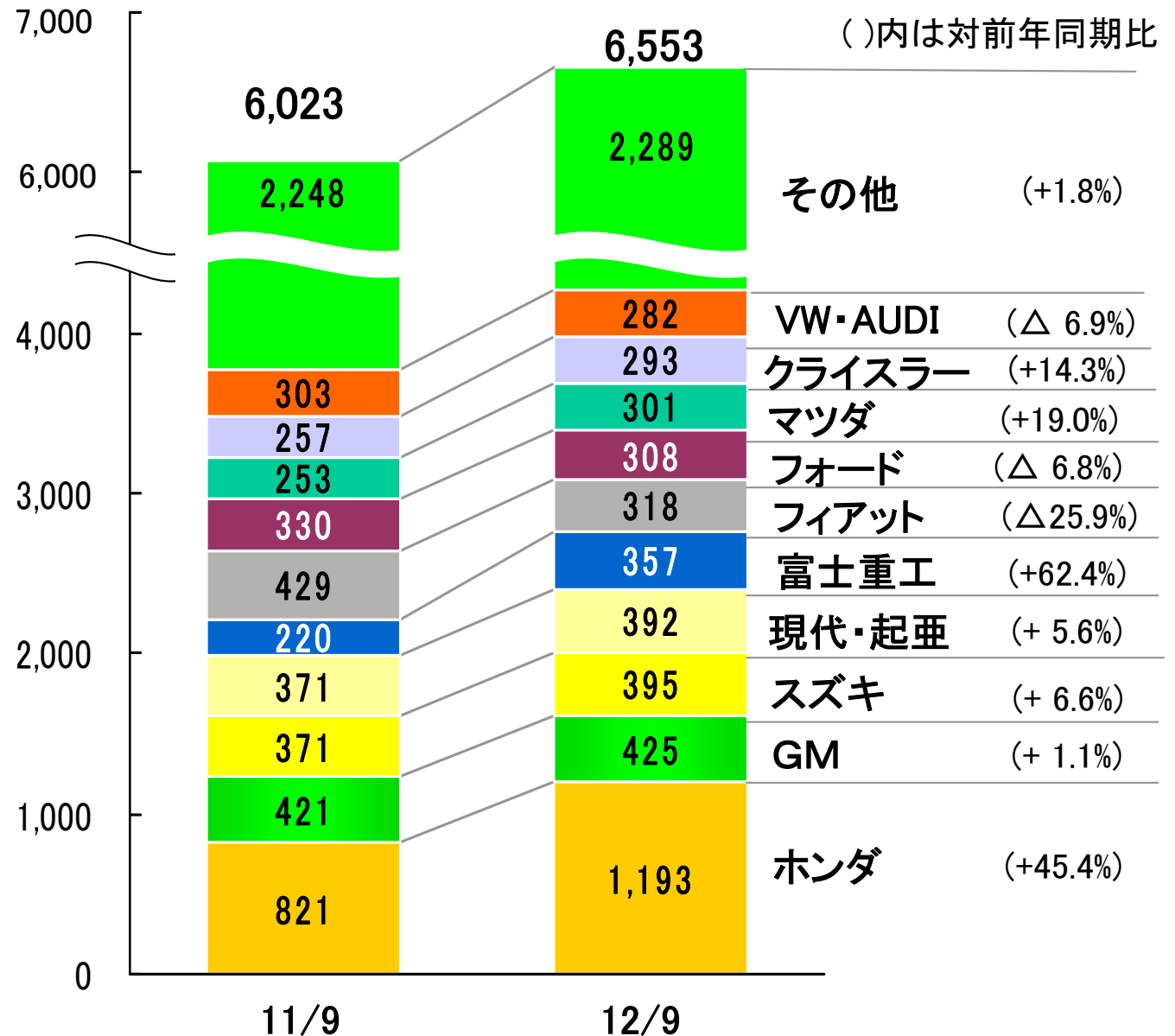
【単位:億円】

	1Q時予想	12/9期実績	11/9期実績	増減額	増減率
売上高	17,400	17,331	14,091	+3,240	+23.0%
営業利益	(7.8%) 1,350	(7.9%) 1,363	(2.3%) 319	+1,044	+327.7%
経常利益	(8.2%) 1,420	(8.6%) 1,492	(2.8%) 393	+1,099	+279.3%
税引前利益	(8.2%) 1,425	(7.9%) 1,374	(2.8%) 393	+981	+249.4%
当期純利益	(5.1%) 880	(4.5%) 781	(1.7%) 233	+548	+235.3%
為替レート	80円/ドル 101円/ユーロ	79円/ドル 101円/ユーロ	80円/ドル 114円/ユーロ	1円 円高 13円 円高	
国内車両生産	482万台	474万台	373万台	+101万台	+27.1%
海外日系車生産 (内、北米)	811万台 (248万台)	824万台 (248万台)	679万台 (156万台)	+145万台 (+92万台)	+21.4% (+59.0%)

得意先別

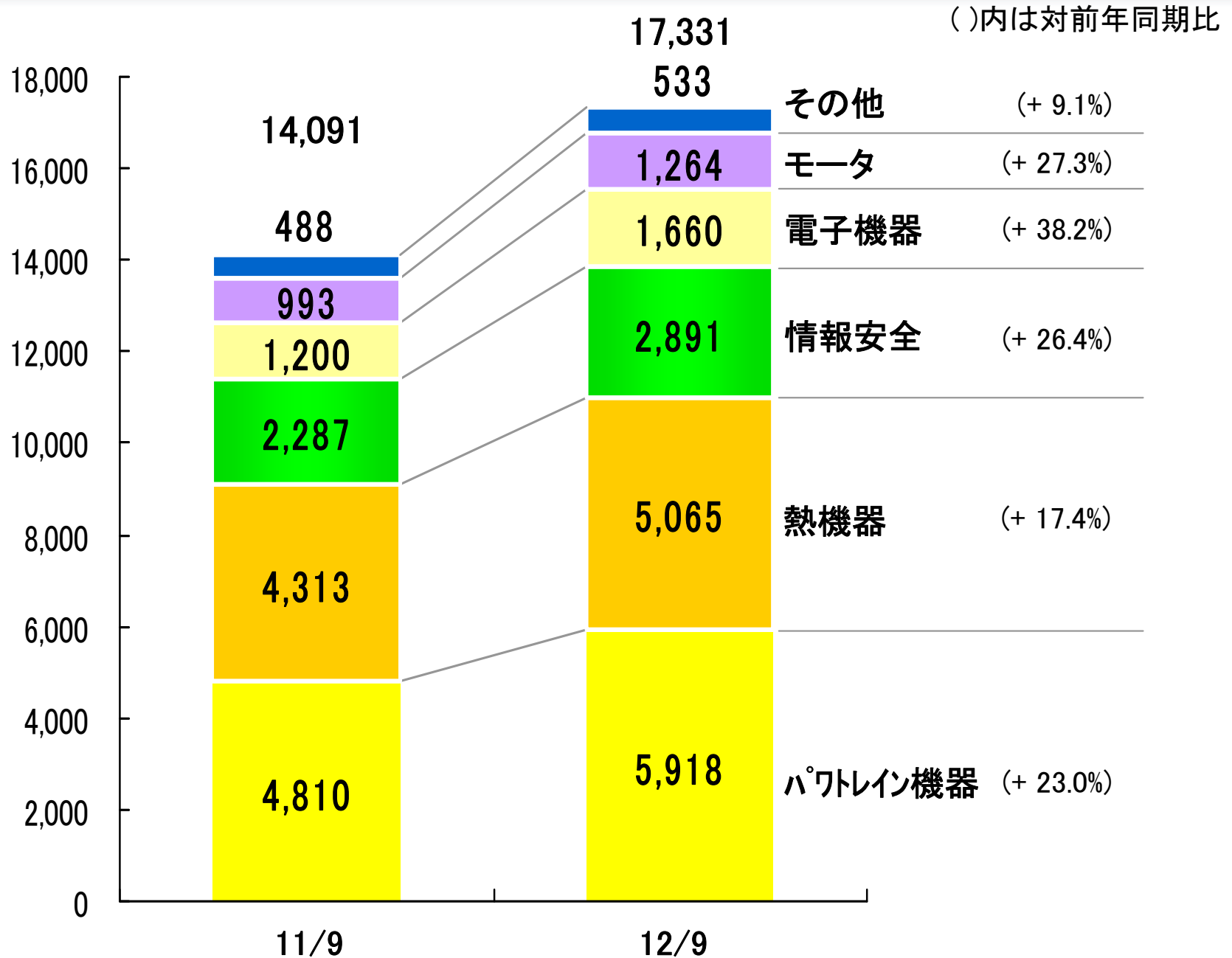


【単位: 億円】 トヨタグループ外 (OEM) 得意先別売上

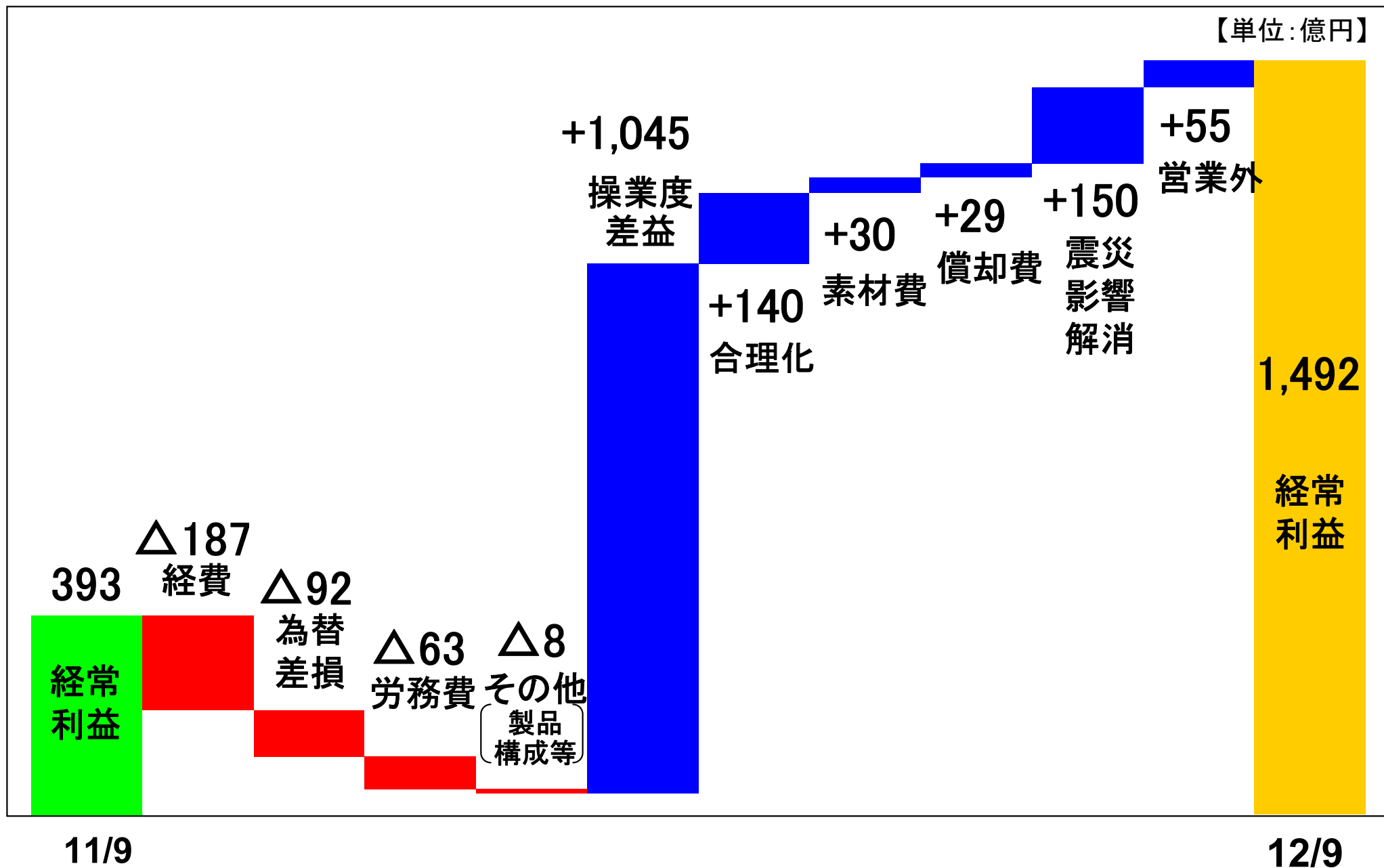


製品別

【単位：億円】



2013年3月期 第2四半期 経常利益増減要因(前年比)

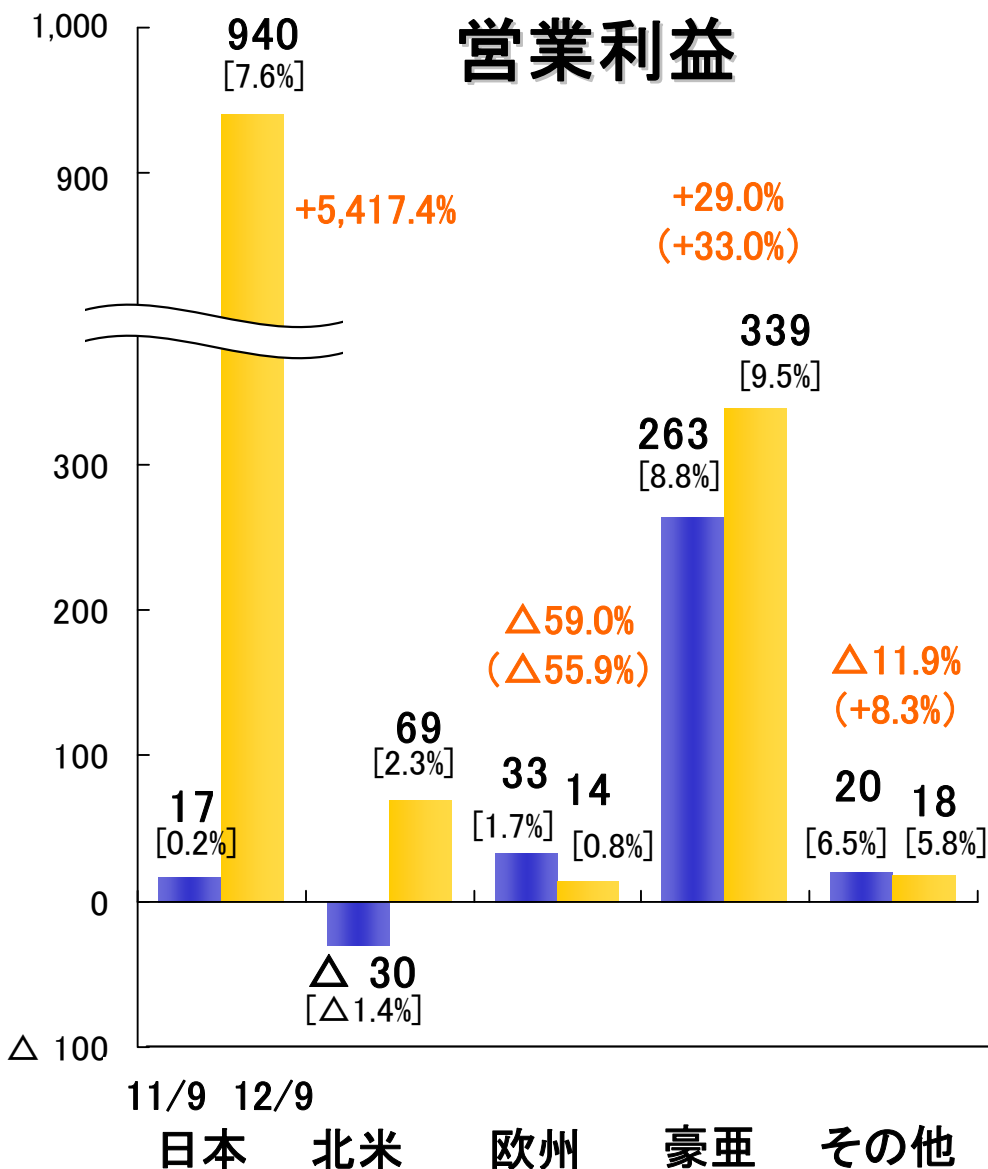
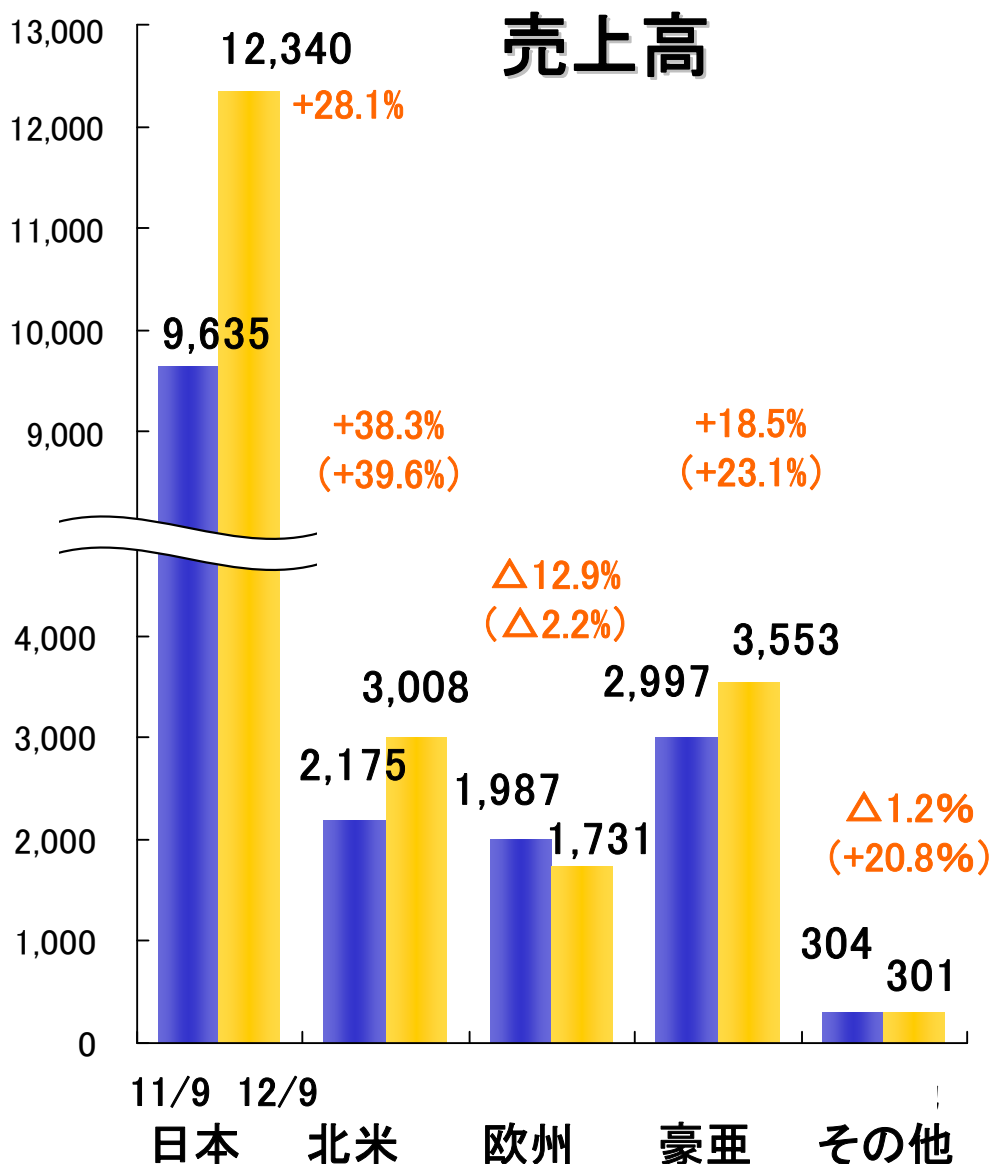


2013年3月期 第2四半期 所在地別セグメント情報(前年比)

【単位:億円】

※増減は円貨ベースで表示
()は為替の影響を除いた現地通貨ベース

[]は売上高比



2013年3月期 通期予想

07 / 25

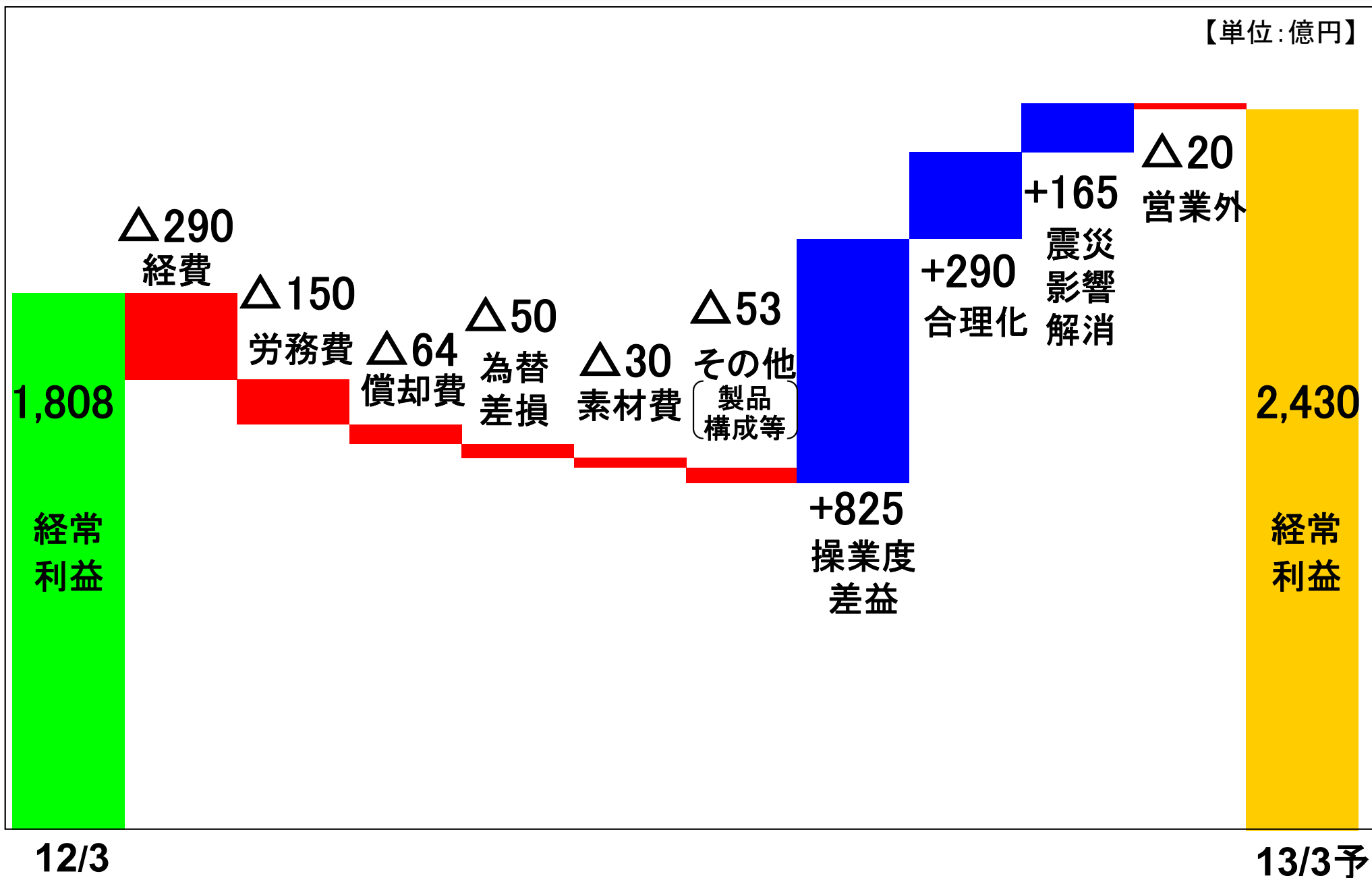
()内は売上高比

【単位:億円】

	1Q時予想	13/3期最新	12/3期実績	増減額	増減率
売上高	34,800	34,100	31,546	+2,554	+8.1%
営業利益	(7.2%) 2,500	(6.6%) 2,250	(5.1%) 1,607	+643	+40.0%
経常利益	(7.5%) 2,620	(7.1%) 2,430	(5.7%) 1,808	+622	+34.4%
税引前利益	(7.5%) 2,625	(6.8%) 2,311	(5.2%) 1,635	+676	+41.4%
当期純利益	(4.9%) 1,720	(4.0%) 1,380	(2.8%) 893	+487	+54.5%
為替レート	80円/ドル 103円/ユーロ	80円/ドル 100円/ユーロ	79円/ドル 109円/ユーロ	1円 円安 9円 円高	
国内車両生産	956万台	931万台	889万台	+42万台	+4.7%
海外日系車生産 (内、北米)	1,647万台 (488万台)	1,628万台 (500万台)	1,465万台 (395万台)	+163万台 (+105万台)	+11.1% (+26.6%)

2013年3月期 通期予想 経常利益増減要因(前年比)

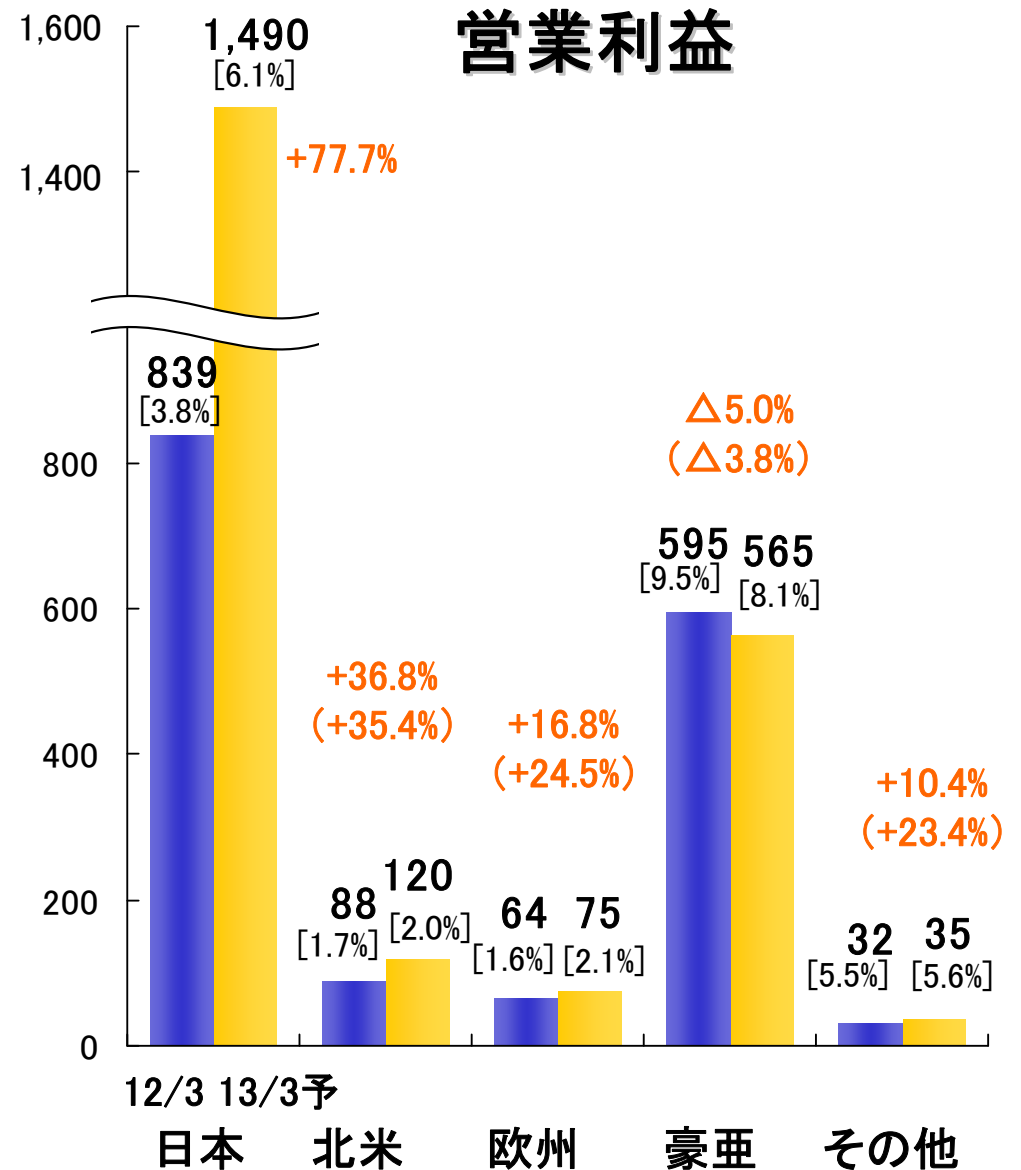
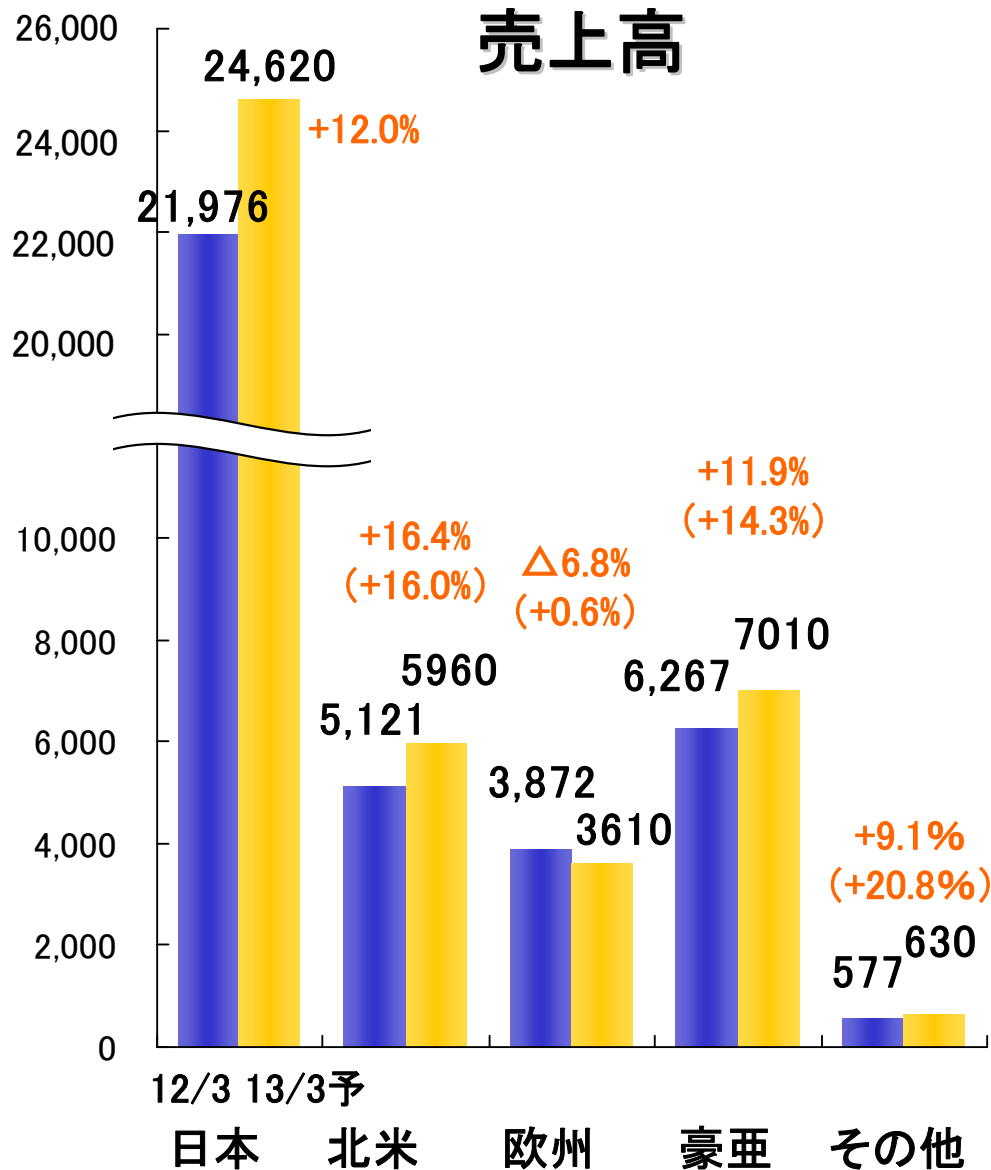
【単位：億円】



2013年3月期 通期予想 所在地別セグメント情報(前年比)

【単位：億円】 ※増減は円貨ベースで表示
 ()は為替の影響を除いた現地通貨ベース

[]は売上高比



1. 中期計画 概略
2. 取り組み
 - (1) 成長を支える技術開発(省燃費)
 - (2) 成長を支える技術開発(安全)
 - (3) コスト競争力の強化
3. グローバル開発・生産体制

デンソーグループ・グローバル中期方針

1. 持続的成長に向けた事業拡大へのチャレンジ

- (1) 顧客(カーメーカ)との関係深化と
成長する新興国市場での事業拡大
- (2) 車の魅力向上に繋がるシステム商品の創出
- (3) 市販事業の拡大と新事業の育成

2. 世界初を生み出し続ける企業への進化

- (1) 世界初にこだわる商品開発力の向上
- (2) ダントツのコスト競争力を持つ
グローバル調達・生産・供給体制の構築

3. グローバルな総智総力の発揮とスピード経営の実現

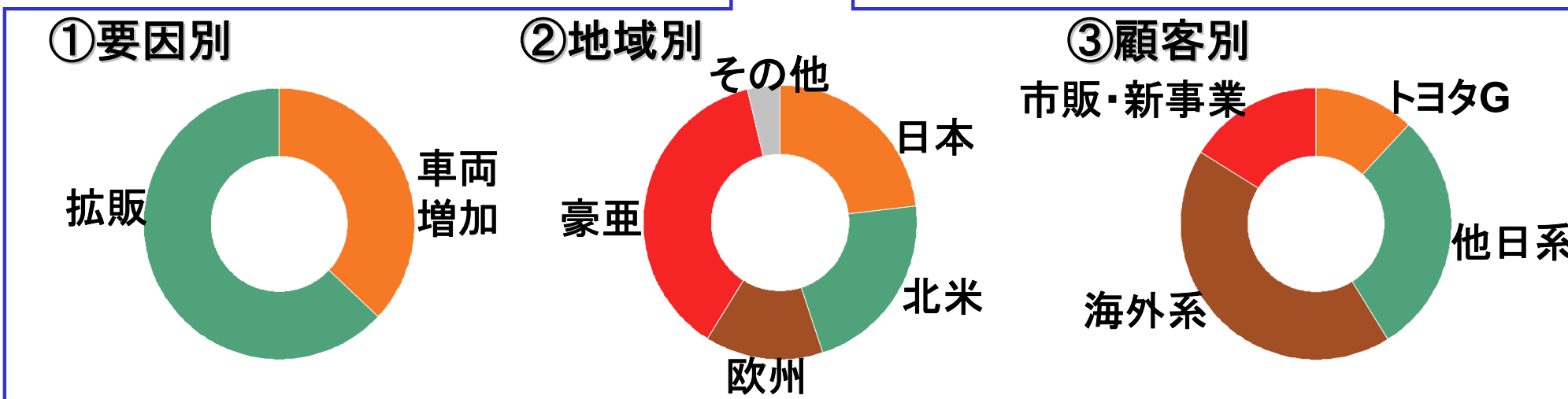
- (1) デンソーグループ12万人の総智総力の結集
- (2) スピード第一で行動する職場・風土への変革

15年目標 “売上高4兆円” “営業利益率8%”

2015年(2016/3月期) 目標

	12/3期	16/3期	増減
世界車両生産	7,900万台	9,960万台	+6%/年
売上高	3兆1,546億円	4兆円	+7%/年
営業利益	1,607億円	3,200億円	
営業利益率	5.1%	8.0%	

→ +約8,500億円



燃費改善・CO2削減に向けたパワートレイン技術

小型化

低燃費の小型車
部品の小型軽量化

電動化

ハイブリッド・電気自動車

システム化

システム間連携による省燃費

▶ 内燃機関エンジンの高効率化

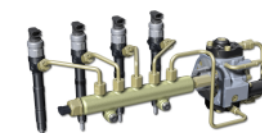
- ・ガソリン直噴 **事例**
- ・ディーゼルコモンレール



直噴高圧ポンプ

▶ アイドルストップシステムの対応

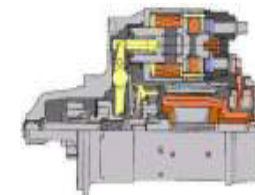
- ・スタータの始動性/耐久性向上
- ・省燃費システム **事例**



コモンレールシステム

▶ ハイブリッド製品の小型/軽量化

- ・インバータ
- ・モータジェネレータ



タンデムソレノイドスタータ

▶ 車全体のエネルギーマネジメント

- ・熱・電力マネジメント

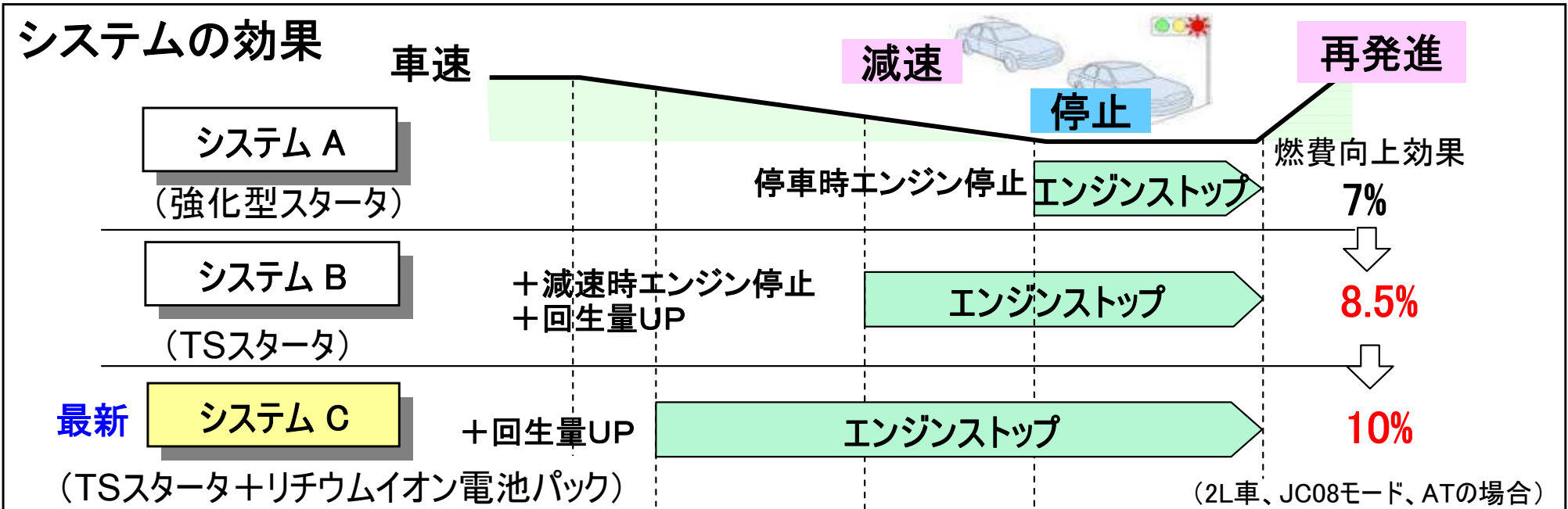


インバータ



モータジェネレータ

アイドルストップシステム



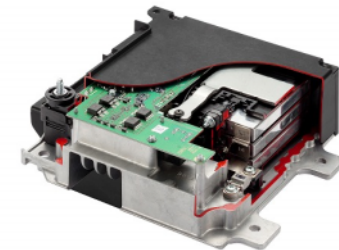
新製品 リチウムイオン電池パック

減速時の発電・充電のみで走行中の必要電力供給が実現

新製品 蓄冷エバポレータ

エアコン作動時に冷気を蓄えアイドルストップ中にその冷気を送り空調維持

スズキ・ワゴンRで採用



リチウムイオン電池パック



蓄冷エバポレータ

内燃機関エンジンの高効率化 - ガソリン直噴

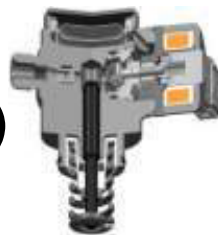
直噴高圧インジェクタ

- 世界最高の噴射圧(20MPa)
- 世界最高の微粒化技術(10~15ミクロン)
- 最適な噴霧形成技術
- 高い耐久性



直噴高圧ポンプ

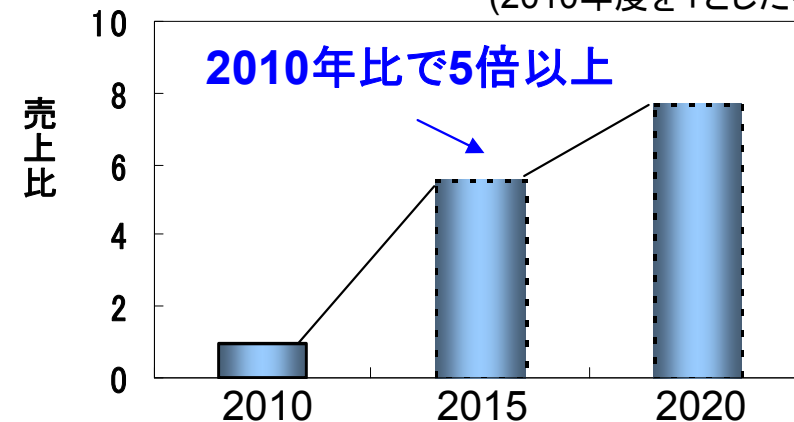
- 世界最高の噴射圧(20MPa)
- 高い耐久性



ガソリン直噴部品の売上拡販計画

高圧インジェクタ、フューエルポンプ、レール、EDU(ドライブユニット)等を含む

(2010年度を1とした指数表示)

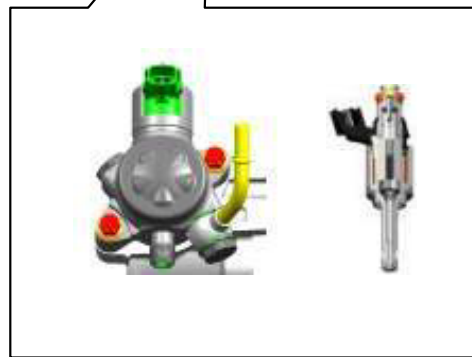


フォード、日産、マツダ、ルノー、ホンダ等で採用

内燃機関エンジンの高効率化 - ガソリン直噴・ディーゼル

SKYACTIV-G

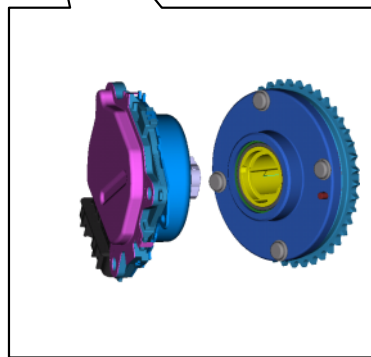
新型直噴エンジン



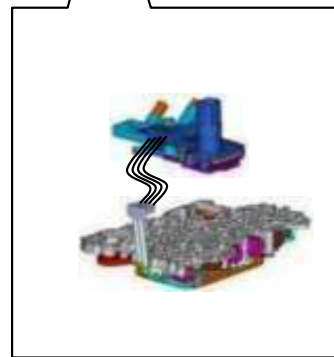
ガソリン直噴システム

SKYACTIV-Drive

新型トランスミッション



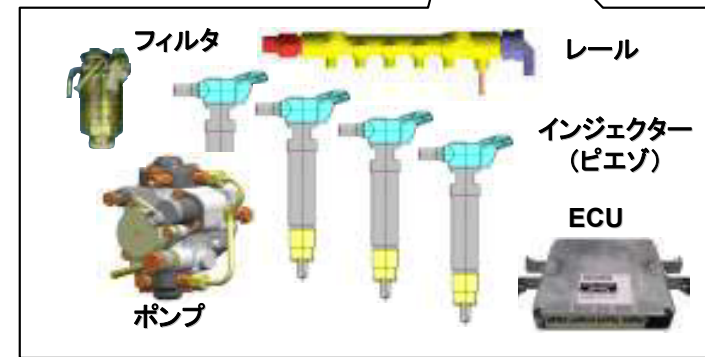
電動 VCT



ATモジュール

SKYACTIV-D

新型ディーゼルエンジン



200気圧コモンレールシステム

マツダ・SKYACTIV に採用

～車両の燃費改善に大きく貢献～

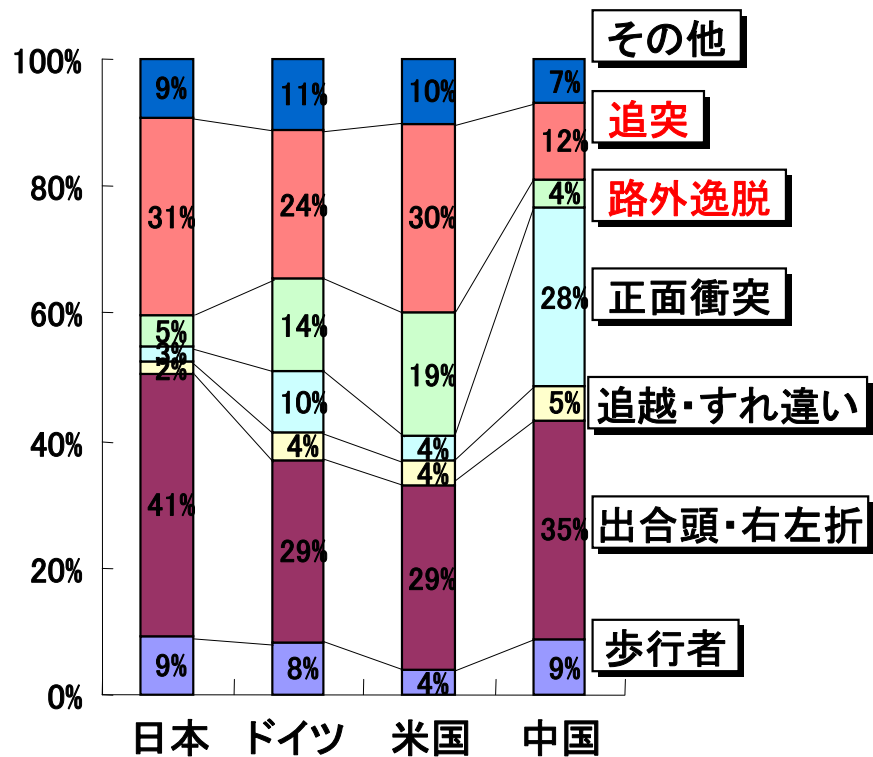
安全分野における技術開発

NCAP: New Car Assessment Program
 AEBS: Advanced Emergency Brake System

交通事故状況による死者数

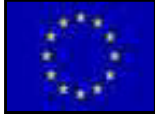


世界で毎年120万人以上

交通事故状況による死傷事故件数



出典: 2008年各国政府機関データ

法規・レーティング(NCAP)動向

	<p>【トラック・バス対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓プリクラッシュブレーキ(AEBS), 車線逸脱警報(LDW)の義務化(13年~) <p>【乗用車対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓NCAP導入 •AEBS(車:14年~、歩行者:16年~) •LDW・レーンキープアシスト(LKA)(14年~)
	<p>【乗用車対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓リヤカメラの義務化(開始時期検討中) ✓NCAPの導入 •追突警報(FCW), LDW(11MY~)
	<p>【トラック対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓AEBS義務化(14年~) <p>【乗用車対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓NCAP導入検討中 •AEBS(車:14年~、歩行者:15年~) •LKA(16年~)

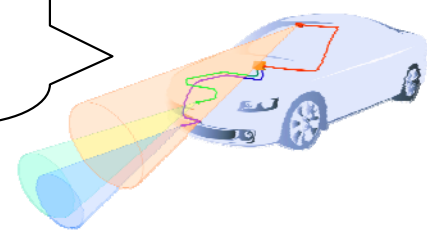
安全分野におけるデンソーのセンシング技術



安全システムの事例

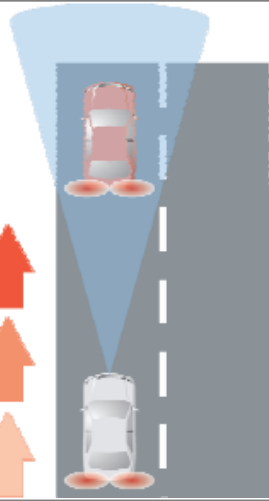
プリクラッシュセーフティー: PCS

- 検出情報
- ・前方障害物の位置
 - ・相対速度
 - ・衝突までの予測時間

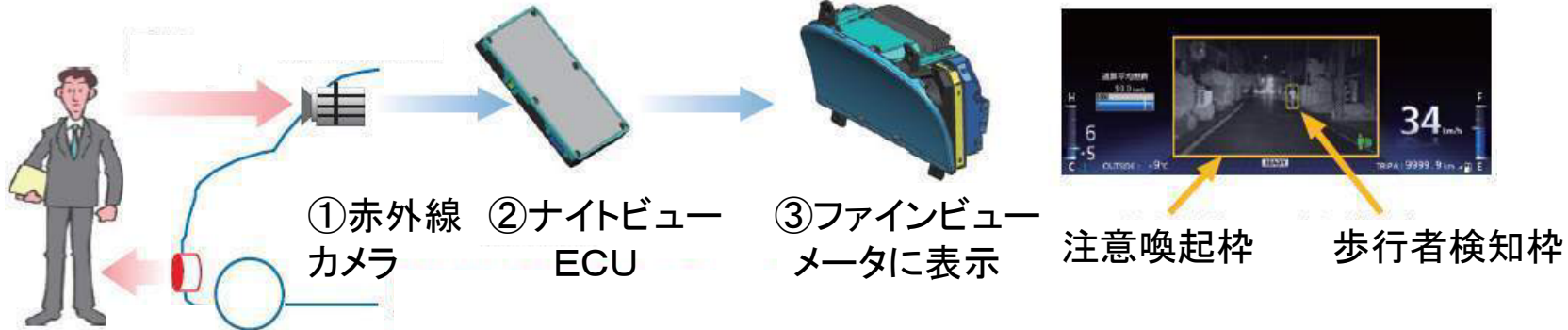


衝突可能性がある
と判断した場合

- ④ブレーキ
- ③シートベルトの巻き取り
- ①警報 & ②制動力UP



歩行者検知ナイトビュー



車間距離制御: ACC

自動ハイビーム制御: AHB

車線逸脱警報: LDW

ブラインドスポット警報

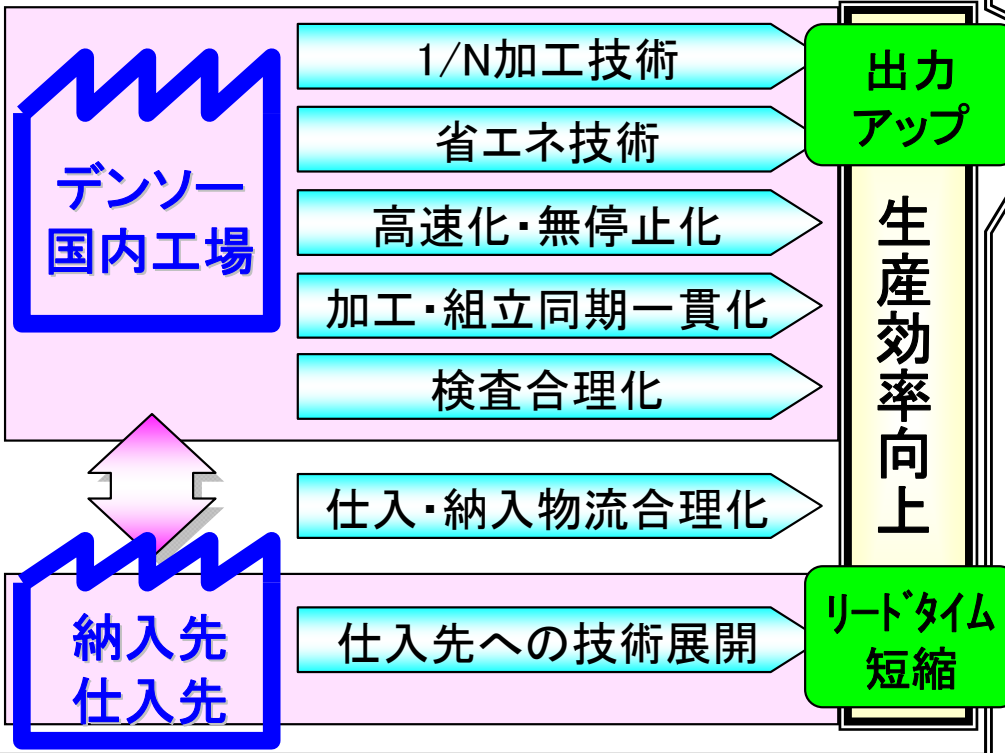
国内ダントツ工場づくり

目指す姿

1ドル70円でも競争力のある
ダントツの原価でモノづくりをする国内工場

活動内容

海外競合に負けない
スピーディな生産技術開発



12年 | 13年 | 14年 | 15年

モデル工場活動

国内全社展開

- ・全事業グループ
- ・主要9工場
本社・安城・池田・
西尾・高棚・大安・
幸田・豊橋・善明

ダントツ工場

ダントツの競争力を国内で実現

海外展開

開発したモノづくり技術をグローバル展開
現地事情に合わせスピーディに進化

低コスト製品の開発(対象:全23製品)と採用状況

	11年		2012年				2013年				2014年				2015年				2016年			
	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
中国																						
インド																						
アセアン																						
南米																						

15車種へ採用拡大中

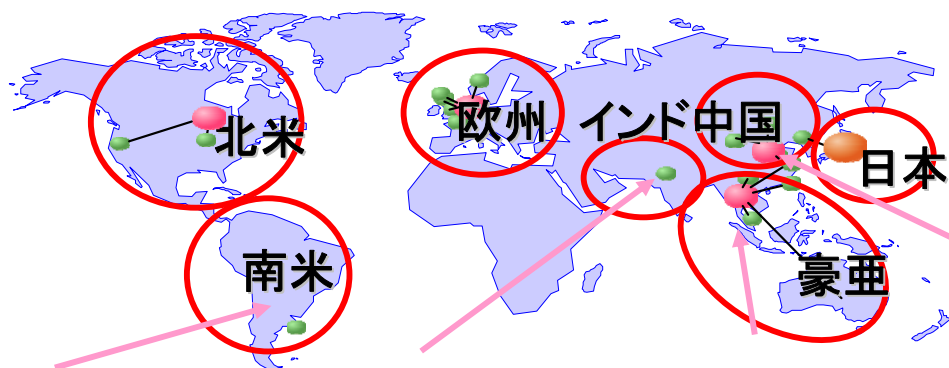


開発活動の切り口

- ① 機能・性能適正化
- ② 構造適正化
- ③ 特定品質基準の設定
- ④ 深層現調化とモノづくり強化
- ⑤ 開発の現地化

コアテクニカルセンター(T/C)とサテライト拠点

コアT/C	日本	北米 ミシガン	欧州 ドイツ(アーヘン)	豪亜 タイ(バンコク)	中国 上海	インド デリー	南米 サンタバーバラ
サテライト 拠点	国内G会社 韓国	テネシー、 カルフォルニア	イギリス、 イタリア、チェコ スウェーデン	ベトナム、フィリピン、 オーストラリア他	華北、西安、 華南、台湾	—	—



ブラジル(サンタバーバラ)

インド(デリー)

タイ(バンコク)

中国(上海)



12年7月設立



12年3月設立



実験設備補強中



13年6月移転・拡充(予定)

7地域での最適なグローバル開発体制

インド<ハリアナ・ジャジャール工場>

投資額 : 約42億円
生産開始 : 2013年7月
従業員数 : 450人(2013年7月計画)
面積 : 建屋面積12,000㎡
業務内容 : 小型モーター、エンジンクーリングモジュールの製造販売



メキシコ<シラオ工場>

投資額 : 約45億円
生産開始 : 2013年10月
従業員数 : 400人(2015年計画)
面積 : 建屋面積25,600㎡
業務内容 : カーエアコンの製造



グローバルネットワーク
216社
(35の国と地域)

インドネシア<ファジャール工場>

投資額 : 約94億円
生産開始 : 2014年2月
従業員数 : 1,300人(2016年3月計画)
面積 : 建屋面積24,000㎡
業務内容 : エンジンECU、VCT、スタータ、オルタネータの製造



ブラジル<サンタバーバラ工場>

投資額 : 約38億円
従業員数 : 342人(2012年6月現在)
面積 : 建屋面積30,200㎡
業務内容 : カーエアコン、クーリングモジュールの製造
(2012年9月より)スタータ、ワイパの製造



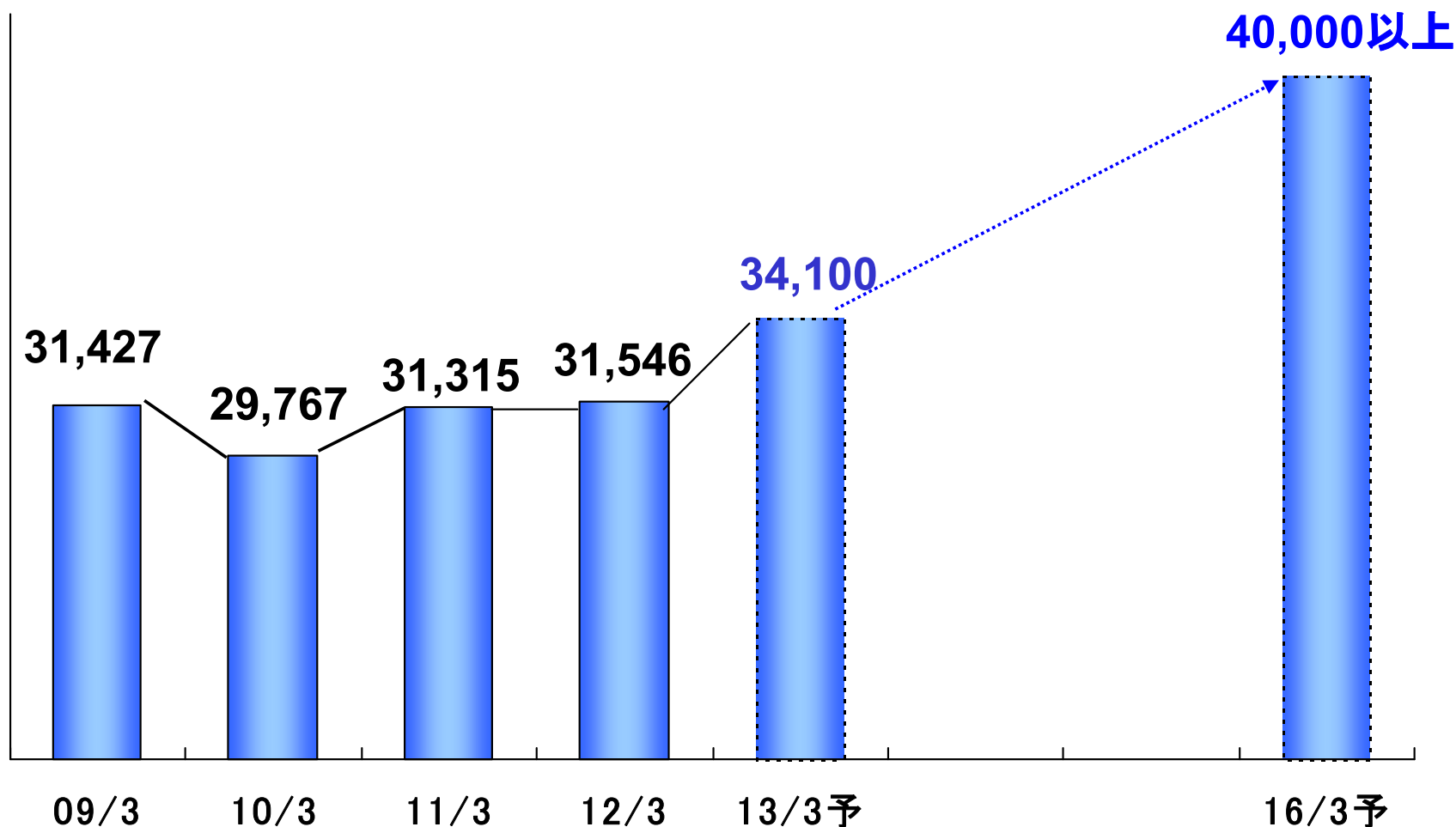
新興国を中心にグローバル生産体制を拡充

2012年9月30日現在

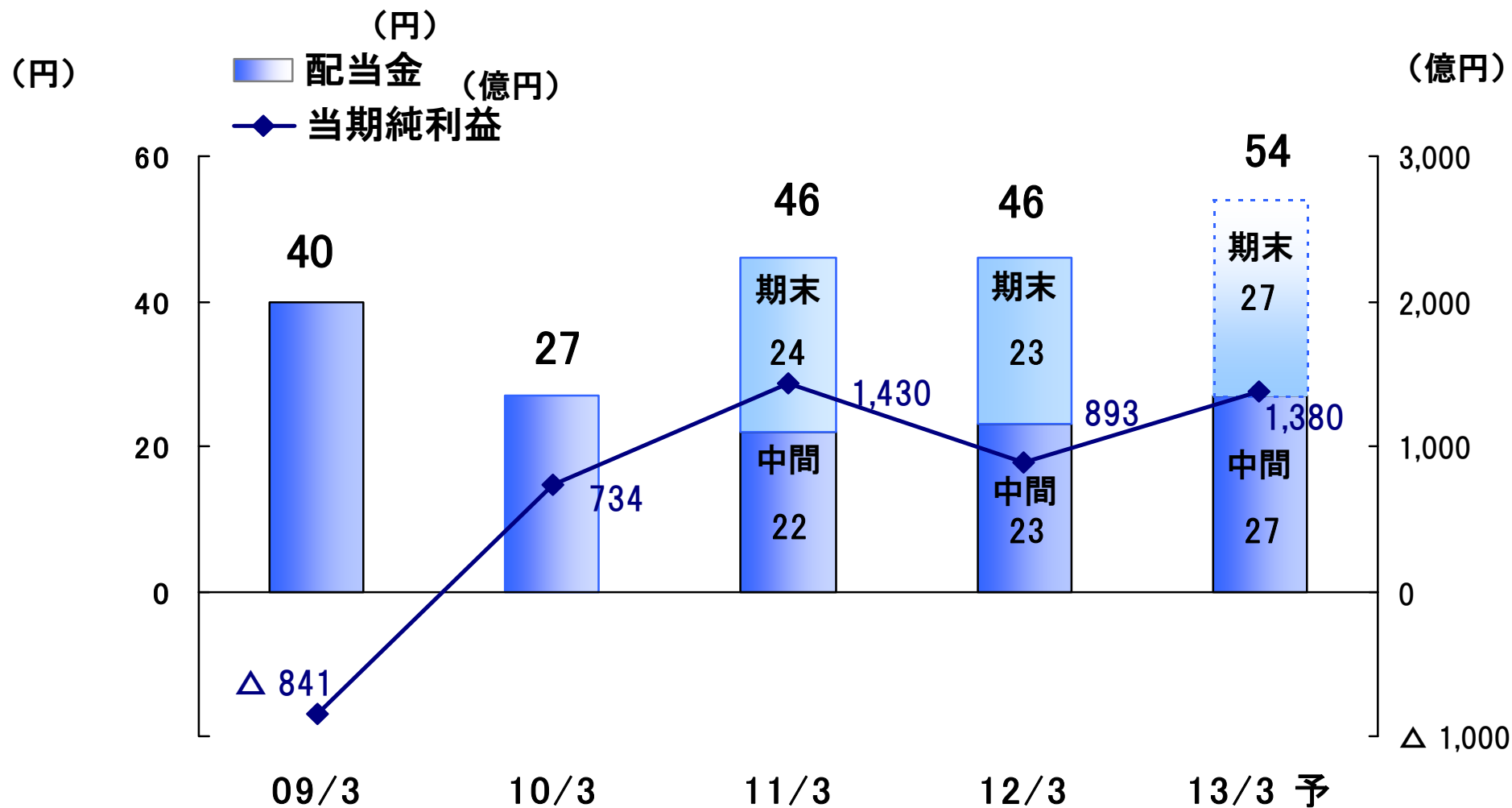
2016年3月期 売上4兆円、営業利益率8%を目指す

売上高の推移

(億円)



中間配当：1株につき27円、年間配当：54円（予定）



DENSO

- **単独決算概要**
- **前提となる為替レート／車両生産台数**
- **得意先別売上**
- **製品別売上**
- **設備投資・償却費・研究開発費**

単独決算概要

損益計算書

()内は売上高比

【単位:億円, %】

科 目	12/9期実績	11/9期実績	前年比		13/3期予想		前年比	
			増減額	増減率	12/6時予想	最新予想	増減額	増減率
売上高	(100.0) 11,452	(100.0) 8,860	2,592	29.3	(100.0) 22,930	(100.0) 22,550	2,234	11.0
売上原価	(88.5) 10,135	(93.7) 8,298	1,837					
販売費及び一般管理費	(5.5) 635	(6.7) 596	39					
営業利益	(6.0) 682	(△ 0.4) △ 34	716	-	(5.1) 1,180	(4.7) 1,060	541	104.2
営業外収支	411	407	4		520	560	△ 61	
経常利益	(9.5) 1,093	(4.2) 373	720	193.1	(7.4) 1,700	(7.2) 1,620	480	42.1
特別損益	△ 119	△ 0	△ 118		5	△ 119	△ 108	
税引前当期純利益	(8.5) 975	(4.2) 373	602	161.5	(7.4) 1,705	(6.7) 1,501	372	33.0
当期純利益	(5.7) 651	(4.2) 372	279	75.0	(5.2) 1,200	(4.6) 1,040	248	31.3

前提となる為替レート／車両生産台数

		上期					下期					13/3通期				
		前年実績	当初予想	1Q時予想	当年実績	前年比	前年実績	当初予想	1Q時予想	最新予想	前年比	前年実績	当初予想	1Q時予想	最新予想	前年比
		為替レート (円)	USD	80	80	80	79	1円 円高	78	80	80	80	2円 円安	79	80	80
	EUR	114	105	101	101	13円 円高	104	105	105	100	4円 円高	109	105	103	100	9円 円高
1円変動の 利益影響額 (億円)	USD											29	29	29	32	3
	EUR											7	7	7	6	-1
日系車両生産 台数 (万台)	国内	373	454	482	474	+27%	516	474	474	457	△ 11%	889	928	956	931	+5%
	北米	156	237	248	248	+59%	239	240	240	252	+5%	395	477	488	500	+27%
	海外日系車	679	806	811	824	+21%	787	836	836	804	+2%	1,465	1,641	1,647	1,628	+11%

得意先別売上

【単位：億円，％】

区 分	12/9期実績(累計)		11/9期実績(累計)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
ト ヨ タ	8,305	47.9	5,749	40.8	2,556	44.5
ダ イ ハ ツ	505	2.9	408	2.9	98	24.0
日 野 自 動 車	254	1.5	213	1.5	41	19.1
トヨタグループ計	9,064	52.3	6,370	45.2	2,694	42.3
本 田 技 研	1,193	6.9	821	5.8	372	45.4
G M	425	2.4	421	3.0	4	1.1
ス ズ キ	395	2.3	371	2.6	24	6.6
現 代 ・ 起 亜	392	2.2	371	2.6	21	5.6
富 士 重 工	357	2.1	220	1.6	137	62.4
フ ィ ア ッ ト	318	1.8	429	3.0	△ 111	△ 25.9
フ ォ ー ド	308	1.8	330	2.4	△ 23	△ 6.8
マ ツ ダ	301	1.7	253	1.8	48	19.0
ク ラ イ ス ラ ー	293	1.7	257	1.8	37	14.3
V W ・ A U D I	282	1.6	303	2.2	△ 21	△ 6.9
い す ゞ	230	1.3	214	1.5	16	7.6
三 菱 自 動 車	219	1.3	234	1.7	△ 15	△ 6.4
日 産 自 動 車	194	1.1	159	1.1	36	22.4
B M W	140	0.8	149	1.1	△ 9	△ 6.0
ベ ン ツ	116	0.7	105	0.7	11	10.9
ジャガー・ランドローバー	65	0.4	111	0.8	△ 47	△ 42.0
P S A	64	0.4	82	0.6	△ 19	△ 22.8
そ の 他 メ ー カ ー	1,261	7.3	1,194	8.5	67	5.6
O E M 計	15,617	90.1	12,394	88.0	3,224	26.0
市販・新事業他※	1,714	9.9	1,698	12.0	16	0.9
合 計	17,331	100.0	14,091	100.0	3,240	23.0

※ OES(メーカー補給含む)、一般市販、新事業、設備売上等を含む

製品別売上

【単位：億円，％】

区 分	12/9期実績(累計)		11/9期実績(累計)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
ハ ° ワ ト レ イ ン 機 器	5,918	34.1	4,810	34.1	1,108	23.0
熱 機 器	5,065	29.2	4,313	30.6	752	17.4
情 報 安 全	2,891	16.7	2,287	16.3	605	26.4
電 子 機 器	1,660	9.6	1,200	8.6	459	38.2
モ - タ	1,264	7.3	993	7.0	271	27.3
そ の 他 ※	241	1.4	211	1.5	30	14.1
自 動 車 分 野 計	17,039	98.3	13,814	98.1	3,225	23.3
産 業 機 器 ・ 生 活 関 連 機 器	215	1.2	216	1.5	△ 1	△ 0.6
そ の 他	78	0.5	62	0.4	16	25.7
新 事 業 分 野 計	292	1.7	278	1.9	15	5.3
合 計	17,331	100.0	14,091	100.0	3,240	23.0

※ 設備売上、補修品、子会社オリジナルブランド製品等

設備投資・償却費・研究開発費

【単位：億円】

		12/3期		13/3期		12/9期	
		11/9期	実績	12/9期	予想	増減率	進捗率
設備投資	日本	489	1,031	594	1,170	21.5%	50.8%
	北米	46	122	82	130	78.3%	63.1%
	欧州	88	187	82	190	△6.8%	43.2%
	豪亜	199	382	256	510	28.6%	50.2%
	その他	34	72	13	90	△61.8%	14.4%
	合計	856	1,794	1,026	2,090	19.9%	49.1%
償却費	日本	611	1,344	602	1,350	△1.5%	44.6%
	北米	78	146	68	160	△12.8%	42.5%
	欧州	59	111	50	115	△15.3%	43.5%
	豪亜	96	185	96	220	0.0%	43.6%
	その他	10	21	10	25	0.0%	40.0%
	合計	854	1,806	825	1,870	△3.4%	44.1%
研究開発費 (売上高比)		1,480 (10.5%)	2,984 (9.5%)	1,617 (9.3%)	3,100 (9.1%)	9.3%	52.2%